

1 次の各問い（問1～問7）に答えなさい。法制度に関しては、日本のものについて考えるものとする。

問1 A社が著作権を保有しているプログラムで実現している機能と、B社のプログラムが同じ機能をもつとき、次の著作権侵害に関する記述のうち適切なものを選び、その番号をマークしなさい。

- ① A社のソースコードを無断で使用して、同じソースコードの記述で機能を実現しても、A社公表後1年未満にB社がプログラムを公表すれば、著作権侵害とならない。
- ② A社のソースコードを無断で使用して、同じソースコードの記述で機能を実現しても、プログラム名称を別名称にすれば、著作権侵害とならない。
- ③ A社のソースコードを無断で使用していると、著作権の存続期間内は、著作権侵害となる。
- ④ 同じ機能を実現しているのであれば、ソースコードの記述によらず、著作権侵害となる。

問2 銀行やクレジット会社などを装った偽のWebページを開設し、金融機関や公的機関などを装った偽の電子メールなどで、利用者を巧みに誘導して、暗証番号やクレジットカード番号などの個人情報を盗み取る行為を何というか。最も適切な語句を選択肢の中から選び、その番号をマークしなさい。

- ① クラッキング
- ② ハッキング
- ③ フィッシング
- ④ バッファオーバーフロー
- ⑤ マネタイズ
- ⑥ ボット

問3 デジタルコンテンツのコピープロテクトは、デジタルコンテンツに関する著作者の権利を保護するための技術である。コピープロテクトを無効化する機能をもつプログラムの販売を禁止しているものはどれか。適切なものを選択肢の中から選び、その番号をマークしなさい。

- ① コンピュータ不正アクセス対策基準
- ② 著作権法
- ③ 電気通信事業法
- ④ 電波法
- ⑤ サイバーセキュリティ基本法
- ⑥ 不正アクセス行為の禁止等に関する法律
- ⑦ 電子署名及び認証業務に関する法律

問4 ノートPCやスマートフォンなどのモバイル機器に重要情報を格納して持ち出すとき、機器の紛失による情報漏えい対策として有効なものはどれか。最も適切なものを選択肢の中から選び、その番号をマークしなさい。

- ① モバイル機器でのインターネットの使用を制限する
- ② モバイル機器内の情報をリモートから消去できるツールを導入する
- ③ モバイル機器に通信を暗号化するツールを導入する
- ④ モバイル機器にのぞき見防止フィルムを貼付する

問5 人間には読み取ることが可能でも、プログラムでは読み取ることが難しいという差異を利用して、ゆがめたり一部を隠したりした画像から文字を判読させ入力させることで、人間以外による自動入力を排除する技術はどれか。最も適切なものを選択肢の中から選び、その番号をマークしなさい。

- ① CAPTCHA
- ② 2次元バーコード
- ③ QRコード
- ④ 短縮URL

問6 ビッグデータの活用例として、大量のデータから統計学的手法などを用いて新たな知識(傾向やパターン)を見つけ出すプロセスはどれか。最も適切なものを選択肢の中から選び、その番号をマークしなさい。

- ① データマイニング
- ② データウェアハウス
- ③ データディクショナリ
- ④ メタデータ

問7 パスワードの漏洩や解析などによる不正アクセスを防ぐ手段として2要素認証がある。2要素認証に該当する組み合わせはどれか。最も適切なものを選択肢の中から選び、その番号をマークしなさい。

- ① クライアント証明書・ハードウェアトークン
- ② 静脈認証・指紋認証
- ③ パスワード認証・静脈認証
- ④ パスワード認証・秘密の質問の答え